

4月3日 (※)

乳頭山

手塚 紀恵子

盛岡からの朝1番の田沢湖線はガラガラで、田沢湖から乳頭山へのバスの客も私一人。この日は、ぬけるような青空に、純白でたおやかな秋田駒の稜線が美しい。終点で下車し、孫六温泉への道は、雪が解けてぬかるんでいる。孫六温泉でスキーをつけ裏山の尾根に取りつく。シュプールもたくさんついているし、赤布もピラピラ下がっている。取り付きは少し急だが、やがてブナ林のベターツと幅広い伸びやかな尾根となり、気分も伸びやかなる思いだ。さらに登ると、樹木が世代交代しているのか、やたら細い木々が密集している地帯を過ぎ、青森トド松が目立つようになると、稜線に出る。稜線には、竹竿が行儀よく乳頭山を目指して立ち並んでいる。天気は上々、見渡す限り、みちのくの山々はひたすらたおやかだ。田代平山荘は、屋根にぽっかり穴が開き、雪が吹き込んで荒廃した感じだ。乳頭山頂からの滑降は、雪質もよく、大斜面を独り占めして、風景を振り分けながら尾根筋を飛ばすのは、何とも痛快。ところが、稜線を外れてブナ林に入ったとたんに、ひどい雪。ズボーンと潜る上に、重たい。快適滑降を疑っていただけにがっかりしたが、まあ、山だから仕方がないやと、樹木にぶつからないよう、気合いを入れてスキーを曲げる。それでも、やっぱり残雪期、傾斜はあまりないが結構スキーが滑って、基本的にはかなり快適な滑降コースと言えと思う。積雪量も充分で、まだまだ楽しめそうな感じだ。帰りのバスも私一人で、平日のこととはいえ、まるで貸切の山行になってしまった。

TIME

8:05	9:40	10:10	
孫六温泉	田代平山荘	乳頭山	孫六温泉
		10:30	11:15

